

地球惑星科学委員会 国際連携分科会 IASC 小委員会 (24 期・第 3 回) 議事録

日 時：2019 年 12 月 17 日 (火) 13:00-15:00

会 場：北海道大学・北極域研究センター および 極地研究所にて ZOOM による接続

出席者：原田尚美、榎本浩之、杉本敦子、松浦陽次郎、猪上淳、兒玉裕二、田畑伸一郎、山口一、檜山哲哉、中村卓司、

その他の場所から ZOOM による接続：堀雅裕、菊地隆、竹内望、吉森正和

欠席：平譚亨、高倉浩樹、羽角博康、石川守、

オブザーバー：當房豊、内田雅己、青木輝夫

議題等

1. IASC 小委員会 24 期・第 2 回議事録の承認 (資料 1)

IASC 小委員会 24 期・第 2 回議事録が承認された。

2. 2019 年 5 月 14 日 IASC 小委員会打ち合わせ議事録の確認 (資料 2)

2019 年 5 月 14 日に行われた IASC 小委員会の打ち合わせについて内容を確認した。2019 年に任期が終了する WG メンバーの交代、および各 WG 2 名のうち 1 名を小委員会メンバーにすることなどから、IASC 小委員会の委員の追加について検討した。

3. IASC WG および任期について (資料 3)

IASC WG の任期は 4 年で 2 期まで可能であるが、学術会議の小委員会の任期は 3 年であるため、両方の任期を合わせて交代することにする。WG も 6 年で交代し、各 WG で 3 年ごとにメンバーが交代できるようにする案を委員長および副委員長から提示し説明した。

IASC WG 内での議長や副議長、プロジェクトなどもあるので、各 WG で検討し、IASC 小委員会の任期にあわせ、2 名の委員を同時に交代しないようにする。

また、IASC WG は ASSW ごとに年数を計算し、学術会議の小委員会は、9 月から新しい期が始まるので、これらも含めて、各 WG で検討する。また、6 年ごとに交代となるため、引き受け手がどの程度あるかも問題となる。

4. IASC TWG, CWG 推薦 (資料 4, 5)

IASC TWG に檜山哲哉氏、CWC に竹内望氏を推薦する。

5. IASC ISIRA メンバー (資料 6)

IASC ISIRA のメンバーに、飯島慈裕氏を推薦することとした。

6. IASC 小委員会委員の追加 (資料 7)

青木輝夫氏、深町康氏を IASC 小委員会委員に追加する。

7. ASSW2020

IASC 事務局のあるアイスランド・アークレイリにおいて、3月27日～4月2日開催予定。

日本からも WG メンバーなどが参加予定。

山口氏より、IASC にて Engineering community との連携が求められており、10月にレイキャビクで開催された Arctic Circle Assembly 2019 において、IASC 主催にて” Smart and Connected Arctic Engineering – the Key to a Better Life in the Cold” という breakout session が開催されたことが報告された。これが最初のイベントであり、ASSW2020 等にて今後の方策が議論されるであろう。

8. その他

ISAR-6 (3月2-6日に開催) において ASM3 (3rd Arctic Science Ministerial: 第3回北極科学技術大臣会合、11月21~22日) に向けたセッションが開催される。ASM3 は日本とアイスランドが共催し東京で開催予定。この会議に科学者の意見をいれていくために、ISAR-6 においてセッションが予定されている。